国立国会図書館　タイトル『刑罪書』 請求記号 る二-27

刑罪書

る二
27

国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号 る二-27

る二
貴重
27

国立国会図書館　タイトル『刑罪書』 請求記号 る二-27

一蔓　七百把
一佐野蔓　弐百拾把

火罪所仕置ニ付蔓蔓
ハ人用ニ為

東京府書籍館
LIBRARY OF TOKIOFU
帝國圖書館藏
明治十年納付

静岡縣士族
山本錬三郎

る二
27

国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号 る二-27

東京府書籍館
LIBRARY OF TOKIOFU
帝國圖書館藏

火罪所仕置之節薪
取入用之人員

一 薪　七百把
一 伐野薪　弐百拾把

右薪用官之儀ニ付富士山麓ヲ唱行る梅ノ梅
ヤハ行ハ方迄一旦ノ大ク丸縄張仕候
薪ニ把完結右縄張ニ付建並ヘ之外
薪ハ囚人ニ為踏夫ヶ月ヲ把完結仕候
二重ニ積上ニ相成人中ニ為ノ上ヘ薪数ノ通ヶ
薪縄ノ為ニ二重ニ積上ノ相成ノ中ニ為ノ上ヘ
岩ヶ薪弐ノ把ノ縄ヶ結付ノ風上ノ
右積上薪ノ中ニ為ノ火ヲ掛ケ申候ハヽ俄風ノ
ハ薪ヲ一ヶ所ノ火ヲ掛ケ延ル為ノ為ノ
一番ノ燃上ル迄ノ間ノ二三ノ薪ノ
一和ノ火ノ燃ケ燃ル有ノ又ハ雨天ノ為ノ
別ノ火ヲ掛ケ燃ル有ノ是又延ノ為ノ
ヲ時ノ為ノ見ヲ伺ノ右積上薪ノ
燃上ル囚人ノ為ノ薪ノ右薪ノ薪ノ
燃残ノ為ノ引抜ノ薪ノ把完ノ為ノ
火罪所ノ見届ノ囚人ノ顔ヲ陰囊ノ
焼中ノ

一 囚人場所ヶ引来ノ節ノ伺ノ飛足六人ノ為ノ

明治十年納付
静岡縣士族 山本錬三郎

国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号 る二-27

一和火ヲ懸ケ燃ル有ラバ又ハ雨天ニ成ル
則チ火ヲ掛ケ燃ル有ラバ是又慈ヲ
ヲ附ケニ成ル時ハ右様ニ仕ル
郷中ヨリ囚人ヲ出シ候ハバ其節ハ前
後ノ残ル引掛ケ二筋四ツ把宛一ツニ結先ヘ
火消道具ヲ見届ル囚人ヲ顔ヲ隠シ
横ヲ

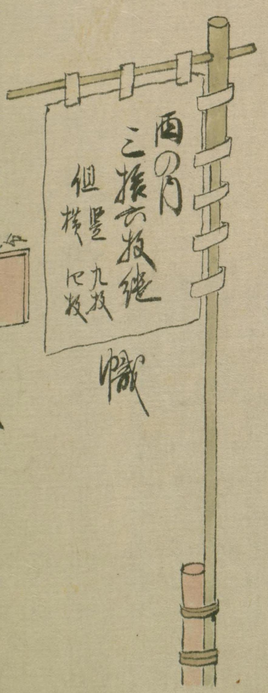
一囚人場所ヨリ来ル節ハ働非人ヲ
ハシ縛リ候ル火罪柱ニ有リ梅ヲ用ル人数
脇ヲ詰ル柱ニ張リ次ニ細縄ニ柱ニ張リ
柱ニ張リ文ハ長貫ヲ一足ニ寄セ柱ニ張リ何モ
太縄二重ニ捻リ張リ出ル塗ヲ
巻又ハ塗中ハ勿論囚人小罪ニ成ル
不ル塗仕新張リ前ノ前縄ヲ切ル時
太縄二重ニ仕廻ヒ柱ニ結リ是ヲ
張回ル塗仕新ル
御検使様ニ渡ル代ハ上ル
囚人側ニ出ル名住宗旨調ル上ル
横ヲ

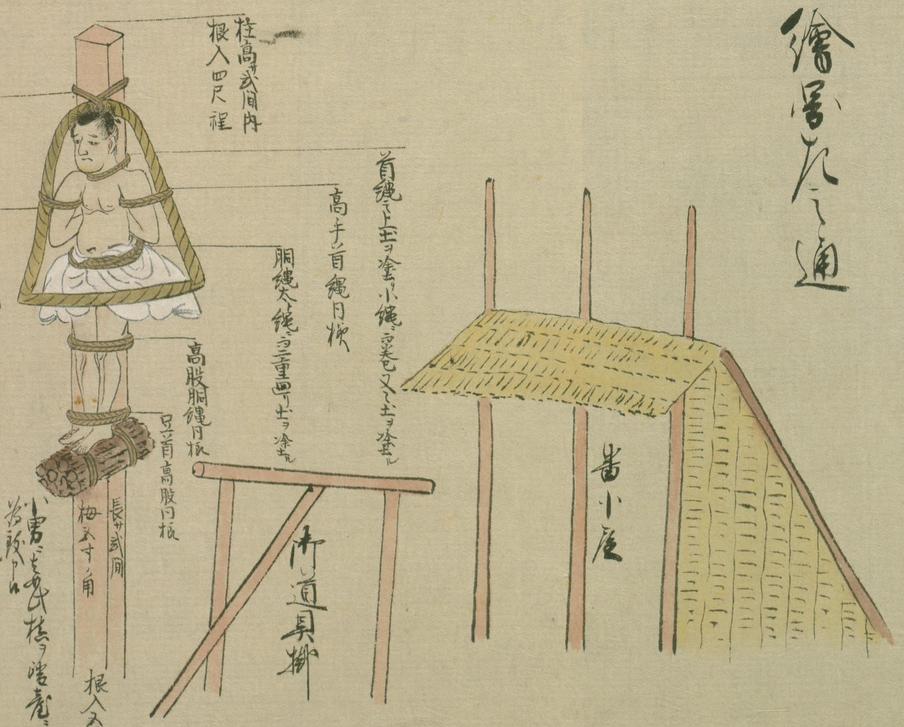
一火ヲ掛ル節ハ先ヘ火ヲ非人
柱ヲ回リ積薪前ハ当囚人横死後
佛ニ先ル第部ニ把張リ火ヲ有面ニ先南
中ハ後有ル右ニ見ル出ル横ハ
第柱ヲ小ル太ノ中ハ

一火罪柱長サ弐間ル梅ヲ角根入ル人前地ニ
堀中ハ但柱ヲ太柱町ノ出ル

一宅ヲ回リ大行二割ニ敷ル
梅ニ仕割ル冊長サ七尺後内ル
横ヲ折足ニ右ニ輪ニ張リ
代梅ハ囚人ハ為平ヲ

中は後有之候ハ右之ゟ罪人を
第格ゟ小長之ものしゝ
一火罪柱長サ弐間ゟ梅ゟ角根入ゟ人前地ゟ
堀入中は但柱廻ゟ
一宅ゟ罪人ゟ左ゟ二割ゟ殺刑ゟ
梅ゟ仕置割ゟ長サ七尺入後内ゟ
後ゟ打足右ゟ輪ゟ縛ゟ上罪状ゟ
付梅ハ罪人ゟ為平ゟ
為梅置右ゟ梅ゟ長木弟縄ゟ刑ゟ
巻ゟ上ゟ土ゟ
古筵ゟ巻又ゟ
一罪人ゟ引槇梅ゟ
横ゟ分梅梅ゟ罪人ゟ
非人ゟ共出ゟ
罪ゟ横置ゟ仕掛
槇弟ゟ





絵図ゟ通

国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号 る二-27

火罪

一 仕置場所 [illegible]

一 同 [illegible] 棒突

一 同 [illegible]

一 同 [illegible]

一 [illegible]

同夜

一 上番人

一 同下番人

二日目

一 同上番人

一 同中番人

同夜

一 同下番人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

火罪

一仕置場所警固
一同所棒突
一同所番人
一同会釜銭
一非人給米配銭
同夜
一上番人
一同下番人
二日目番
一同上番人
一同下番人
同夜
一同上番人
一同下番人
二日目番
一同上番人
一同下番人

右御仕置者二夜三日晒之後番人ハ銭引取ハ番人ハ死骸并罪状書小屋検札懸ル取捨ル

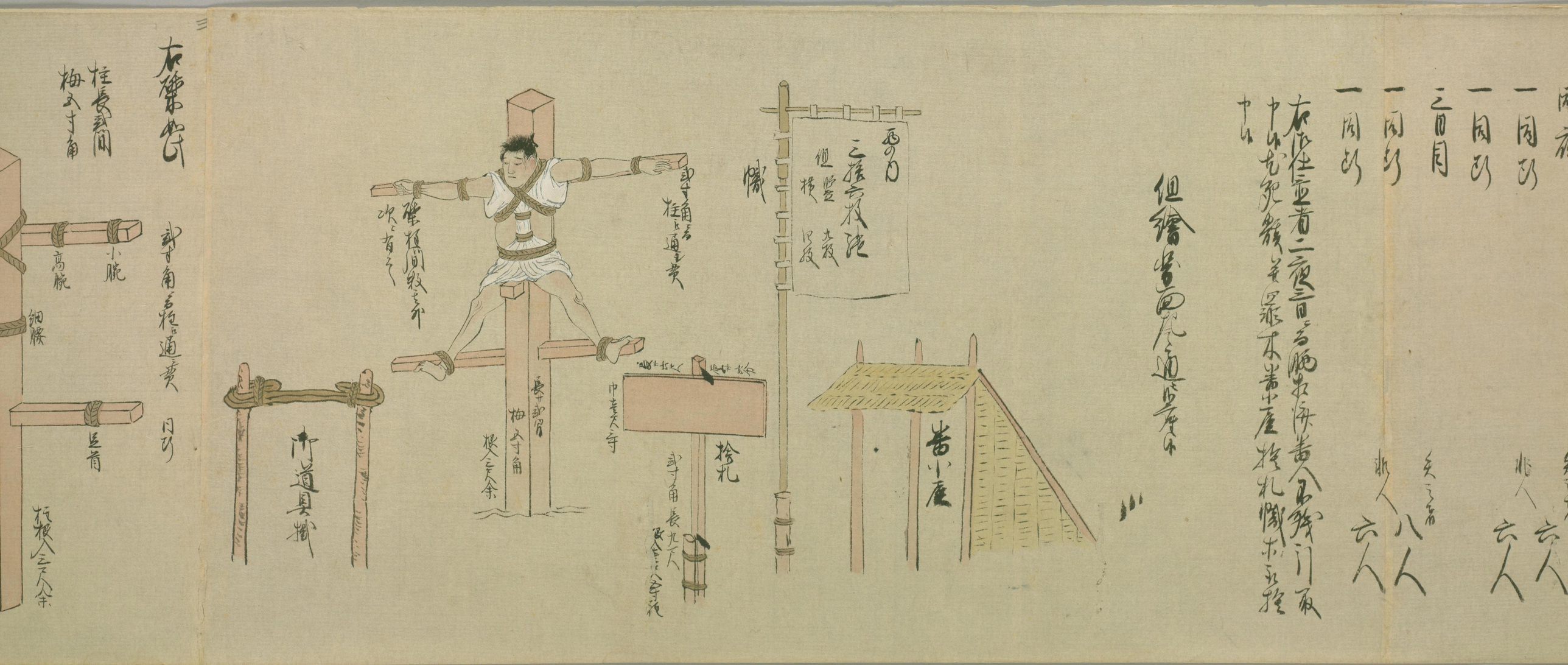
磔御仕置仕法

一御仕置相懸ル因人場所ハ引出ル海辺之場所ニテ内ニ引出ル御非人共ハ馬ニ罪状ヲ上ル棄ル之前ニ横木ニ縛付其上ニ女ハ左右ニ男ハ左右ニ男ハ左右ニ男

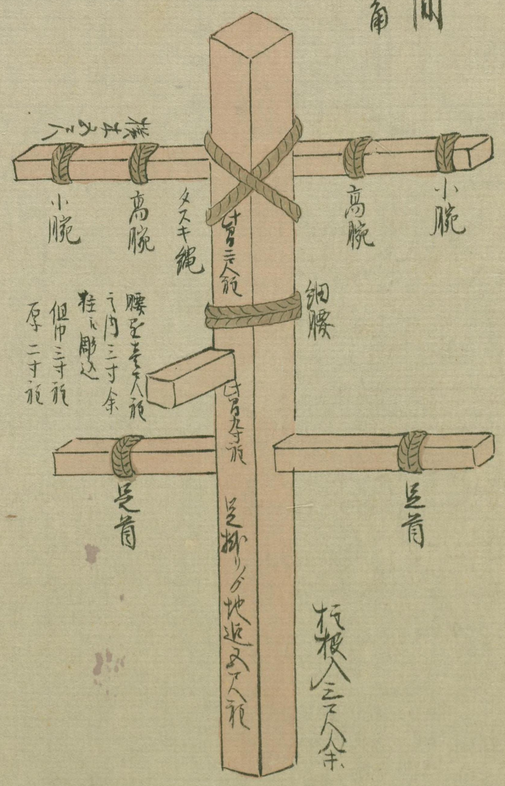
国立国会図書館　タイトル『刑罪書』請求記号 ろ二-27

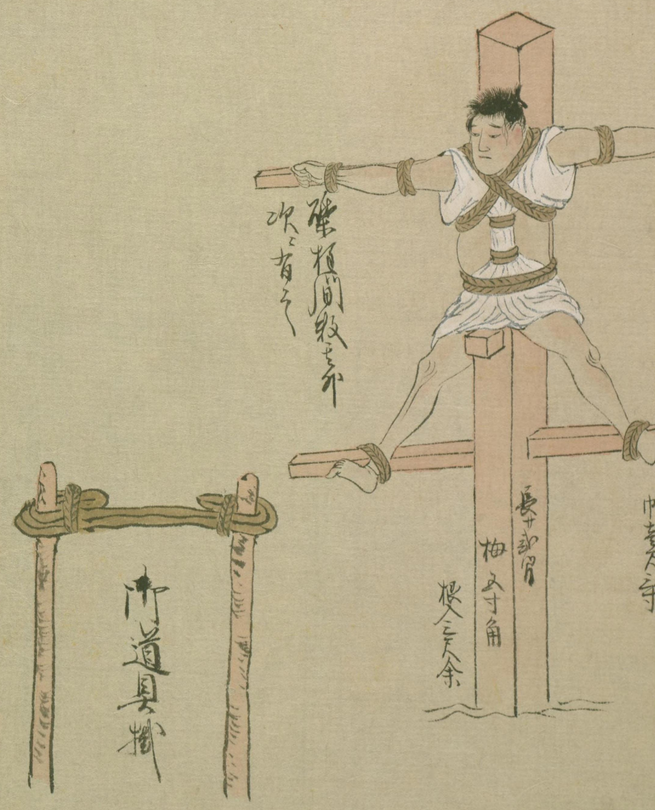
本件犯罪ハ一定ノ計画ニ基キ犯人ノ共謀ニ出テタルモノニシテ其情状ハ
甚タ悪質ナリト認ム

一同ハ
一同ハ
之ヲ
一同ハ
一同ハ
同様
一同ハ
一同ハ
一同ハ
同様
一同ハ
一同ハ
一同ハ



国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号 る二-27





一 御徒弐人
但代り弐人

一 御捕道具弐人
但代り弐人

一 宰領
一 先拂
一 隠持
但代り弐人
一 札持
但代り弐人

矢之者 弐人
矢之者 弐人
矢之者 弐人
那人足 弐人
那人足 二人
那人足 二人

一 市蔵武人
但代り共

矢こ者 弐人

一 市捕道具武人
但代り共

矢こ者 弐人

一 宰領

矢こ者 武人

一 先拂

那人足 四人

一 幟持
但代り共

那人足 二人

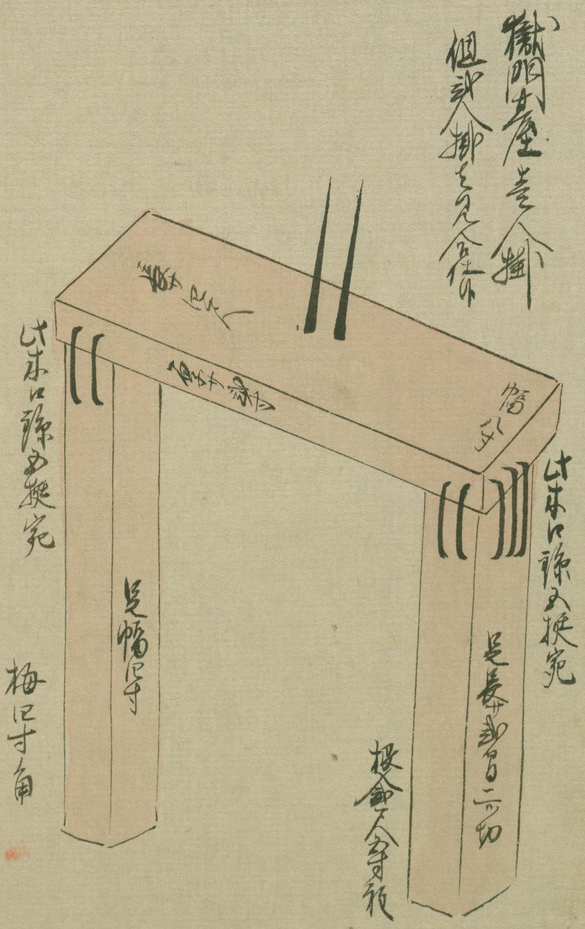
一 札持
但代り共

那人足 二人

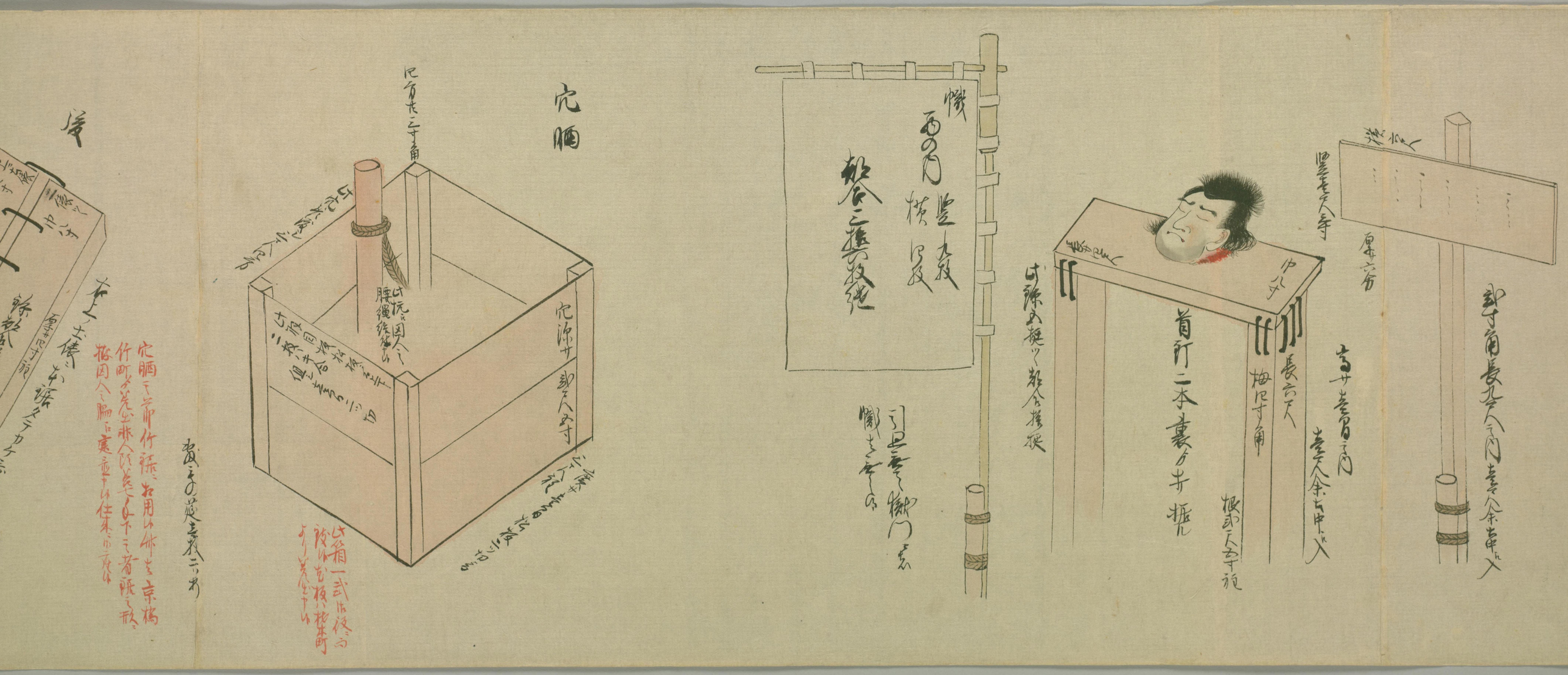
一 因人取扱来る者
但馬附る中ゝ

那人足 弐人

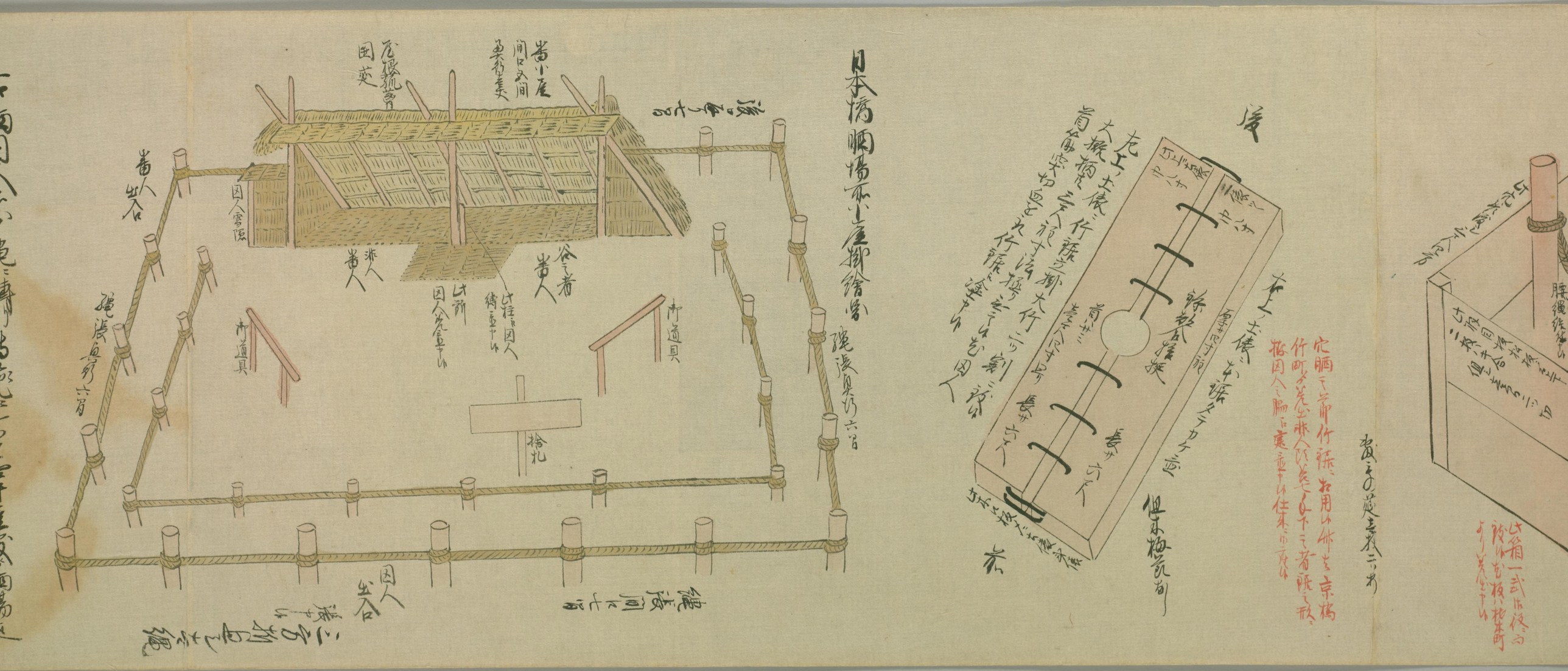
一 宰領



国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号　る二-27

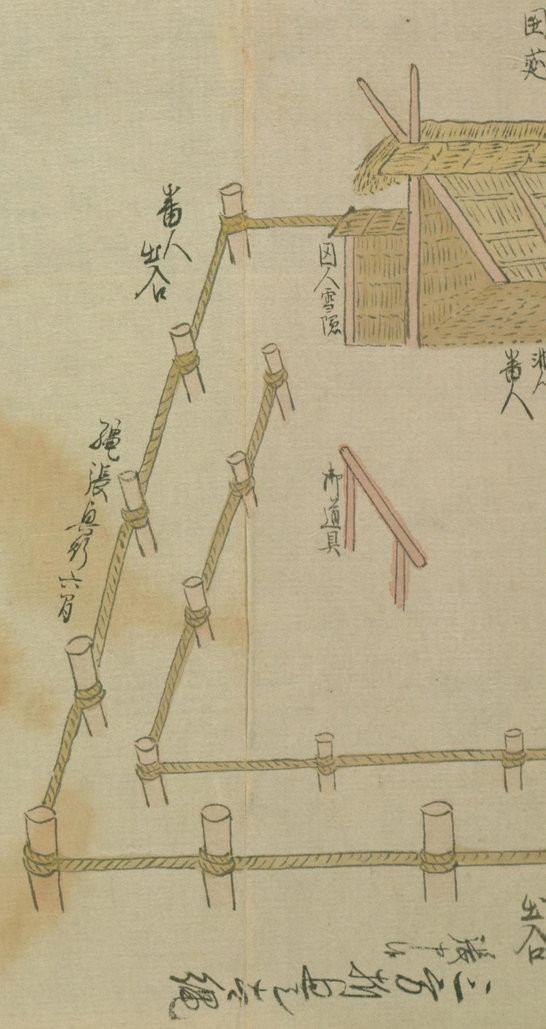


国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号 る二-27


日本橋晒場小屋掛絵図
晒場長さ六百
晒場長さ六百
番人
番人
番人

右晒囚人共右縄ニ縛り拷問ニ掛ケ
候連右縄ニ依る小屋を突メ柱ニ結付候上ニ
其右小屋ニ用代金ニ御ハ
以入用ニ成る出来ル

一右晒小屋ニ番ニ者雇人ニ
出ス対死仕候晒ニ者其囚人
ニ出ス



晒場内外番人

穢多弐人
武人

番人

内幕欠武人

那人欠七人代
武人

非人
横目
囚人取扱ニ成し者

非人
六人
武人

於会
穢多
那人

拵ニ人
拵ニ人

伝仕置者伝人用ニ内代限ニ
私方人用ニ取賄仕候ニ付
代限ニ
上ル

火罪者人ニ付用

一他野新弐百拵把
但壱把ニ付四分宛ツ

代限八拵ニ付
代限

一茅七百把

代限弐拵ニ付

法仕置者御入用ニ付代銀三匁五分宛ニ成賄仕候ニ付九匁五分上ル

火罪共今仕入用

一佐野前武百束把　代銀八拾匁五厘
　但壱把ニ付四匁宛ツヽ

一茅七百把　代銀武拾二匁八分
　壱把ニ付三厘四毛ツヽ

一大縄武把　巳尋ニ付　代銀九匁七厘
　壱把ニ付四匁宛ツヽ

一中縄拾把　十尋ニ付　代銀武匁五厘
　壱把ニ付五匁宛ツヽ

一箒作把前七拾把　代銀拾九匁六分
　壱把ニ付弐匁宛ツヽ　但二束ツヽ

一番小屋　壱ヶ所　代銀拾壱匁壱厘

一板六人札板　壱枚　長六尺　巾壱尺　厚サ六分　代銀六匁七分

一札歩行拾本　足尋　代銀壱匁九厘

一札建添杭　拾本　代銀二匁壱厘五毛

一のり　壱本　代銀六匁八分

〆銀百八拾八匁九分武厘五毛

代金三兩弐分銀拾壱匁壱厘五毛

但六ヶ所ニ海老捨札ハ別分
代金銀分ヲ六分銀壱匁宛
　　敷金三兩弐分銀拾壱匁壱厘五毛

右之外

火罪共ニ使ル仮ル拾本

谷大工下中小元大工町　南大工町　長大工町　横大工町
右ハ町々町役ヲ免シ其外大工町ハ半分無代神田
九軒町屋有屋敷源三郎　庄兵衛　善兵衛

代金二匁五厘
但六ヶ所ニ薄皮捨れ之分
代人金壱分と六匁五厘
差引
金三匁四厘

谷大工中ハ元大工町南大工町横大工町
右ハ町々町役ニ付免ス代神田
九軒町屋有屋敷源兵衛店新吉家屋敷

右ニ付
火罪木ニ付役ニ付弾箱
但前日宰屋敷ニ焼ル
一右火罪ニ付振人ニ
方ニ焼ル
右火罪ニ付振人ニ
一四平樽二ツ 代銭
一醤油樽二ツ 代銭
一鉄ハ平樽代銭八分
一鉄熊手一本代銭
一蝋燭 樽鉄挺代銭八分
代銭拾貫六百文

穴明礫壱人分ニ付
用平樽ニ付
一晒蕎小屋 壱ヶ所
日雇
一大鋸 壱枚
日雇
一完料鋸
是ハ定出張之節焼跡中ノ焼
代銭拾六貫文
日八貫
日武拾貫
日七貫文ニ
日六貫八分
日拾九貫六分
日四拾六貫文ニ
一振六人扶 壱枚
但ハ打鋸抗ハ
一鍬 壱本
一箒 七拾把
但二百文
一蕎小屋 壱ヶ所
代銭四九拾壱貫六百文
代金三両

国立国会図書館　タイトル『刑罪書』請求記号 ろ二-27

一 雑物 長さ 二尺

一 鍋 [illegible] 長さ 二尺

一 [illegible] 長さ 二尺

一 [illegible] 長さ 二尺

一

代金壱両壱分ト弐歩 或壱分ト銭

右ニ付
櫛板ニ而彫ル谷大立板ニ 但右同断

一 蠟燭 拵賃共 代銀壱匁八分
是ハ薄紙ニ而方角ニ元巻ル

一 右櫛ニ成薄ニ方角元巻ル板ハ金箔ニ而彫ル
元巻ル

櫛門壱人ニ付金四角

一 振六ツ入札 壱枚 代銀壱匁五分壱厘
但ヲ打流板共

一 櫛ツ打 弐ツ 同壱匁五分三厘

一 同大鍬 拵賃 同八匁四分五厘

一 番小屋 壱前 同四拵賃銀壱匁

一 箱鞭 七拵地 同拵九匁六分
但二夜ニ分

一 銀八拵賃 銀ニ而壱匁五分
代金壱匁壱分ト壱厘

但打直シ上櫛ツ出ス懸壱代六匁分拵賃
外ニ金壱両壱分ト壱厘ニ方角元巻ル

右ニ付
櫛門貢蓋ニ成ル谷大立拵ル 但右同断

一 蠟燭 拵賃共 代銀八分 一 醤油樽壱ツ 代壱匁

一 銭箱八分
是ハ薄紙ニ而方角元巻ル

右櫛ツ三ツ出ス方ニ元巻ル板ハ金箔ニ而彫ル

相撲免仕候男女共女犯ハ家晒ス角

一 振六ツ入札 壱枚 代銀壱匁五分壱厘
但ヲ打流板共

一 晒番小屋 壱前 代銀壱匁五分壱厘

一 銀九拵賃 銀ニ而壱匁五分
代金壱両壱分ト弐歩

一 銀六拵賃 同

相對死仕候男女共女犯ニ付家晒ス用

一振六ツ丈　壱枝　代銀壱匁ツ
但ス打振棒共

一晒番小屋　壱ヶ所　代銀拵賃ツ

代銀拵賃ツ　武匁

右晒ス所弾番ス者共ハ非人ニ是ハ役ス者共

壱病ス両人打直ス所共

一曲録（キヨクロク）　弐　踏基屋　二ツ共ニ　代金壱分

是ハ弾番ス員方ハ角ス者共

一両人宗馬宗智共ハ仕候馬役者共

一御様ス所弐　死罪ス所ス所

金貸ス者共

死罪仕置ス所者共

縄取　武人

切売取扱ス人ニ　三人

是ハ役ス弾番ス者共

引廻シ上御門仕置ス人有ス所矢ツの弐

非人如方ハ通

仕置具特矢ツの

矢ツの小ス

弾番ス代

先御非人ニ　拵人

同横目非人小屋ス　武人

番ス非人ニ　武人

同横目非人小屋ス　壱人

切売取扱ス非人ニ　三人

同横目非人小屋ス　武人

場所小屋掃除非人ニ　武人

小御非人ニ　拵人

立役小屋ス　拵武人

同横目非人小屋敷
切荒屋敷非人共
同横目非人小屋敷
場番小屋敷非人共
小働非人共
定役小屋敷
二夜二日番人共
通

当日番人
同夜
上番人
下番人
二日目
右同断

矢ごろの
六人

矢ごろの
六人
非人
六人

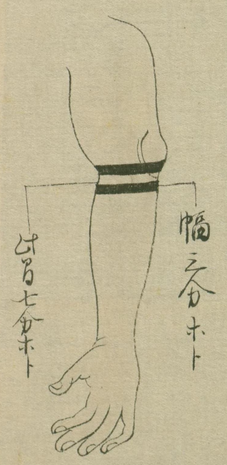
同夜
右同断
二日目
上番人
下番人
番人
矢ごろの非人

矢ごろの
八人
非人
六人

三橋郡人
七人

右人足
[illegible]

諸国入墨ニ付
江戸



同増入墨
安永六酉年十月晦日松平右京亮殿ヲ作法
同七戌年六月廿一日増入墨初ル牧野大隅守殿ヲ
小金ヲ宿場帯刀初ル増入墨ニ付

有来入墨ヲ上ヲ方ヲ

同入墨

同断入墨

安永六酉年十一月晦日松平右京亮殿江伺

同七戌年六月十一日増入墨初ル牧野大隅守殿

小倉江宿指候節初ル増入墨ニ成

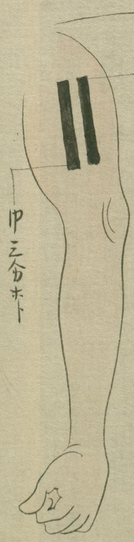
有来入墨ヲ上ヲ方ハ
一筋ヲ増入墨中分

同人足寄場入墨

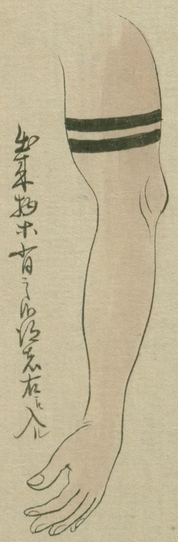
寛政又丑年十一月又日池田左兵衛殿出張ノ上
但人足ニ限リ此入墨中分寄場入足ニ成ル
入墨ニ当着ハ是迄ヲ通ヲ入墨中分

京

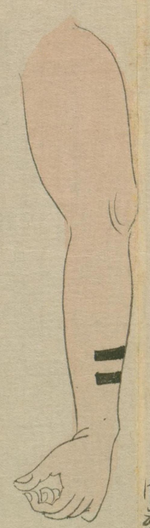
赤井越前守殿役中ヲ右腕ハ入



大坂



長崎



国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号 る二-27

堺

寛延元未年閏十六日ノ疵

肘より一寸下ル

山田

後府

肩より二寸ホト下ル

巾二分ホト

寛保三亥年七月廿九日ノ初ル

京師

後府と同し様ニ先見ハ中れ先而指ニ而ニ
巾二分ホトなる迄ニ下れ初ル

中田長吉

伏見

長吉寺ニ分
巾二分ホト

歯骨ニ入ル

長崎

長吉寺ニ分ホト
巾二分ホト

長吉寺ニ而初ル

寛延元未年閏十六日ノ疵

山田

堺

寛延元未年門十郎入墨

肘より一寸下ル

中二本木川吳

浦賀

依波

廿

日光

寛政三亥年七月 評議之上日光奉行ニ為

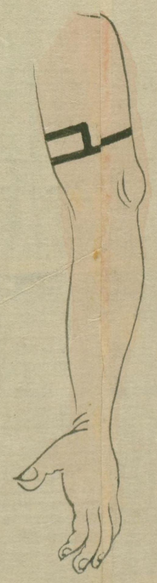
山口新蔵弟五郎中ニ通入墨取扱用可申旨

幾中当厳佐下知

郡代入墨

国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号 る二-27

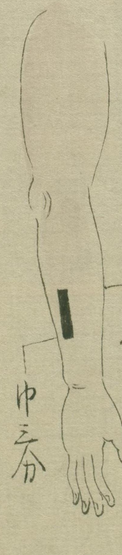
郡代入墨



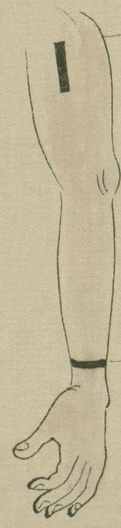
撰要記導者方入墨

惣て入墨いたし候儀は重き者ニ而五度此り重き者ニ而三度ハ左之又ニ入墨一筋増
及ひ度ハ左之通

入墨ニ付ての儀ハ引渡ハ盜殺ハ非人
入墨ニ付



非人ハ小屋ニ而いたし候入墨寛政二戌年ニ
池田龍蔵殿江伺之上ニ而ハ左之通改り



江戸入墨初り之事保之元年二月十七日江戸伺
同年ニ月十一日中山出雲守殿長崎町年寄
中者江戸牢ニ而牢抜て巻候物ハ即ニ依科入墨ニ上
追放ニ

女入墨之儀

長谷川平蔵殿

小日向西丘門町
吉兵衛方ニ而八文字屋
寛政元酉年
十二月ニ日入墨ニ成
但湯屋ニ而長谷川平蔵殿立会

松平和泉守殿家来

中書ニ写ハ書ニ相違ニ無之ハ依科入墨ニ上
追放ニ

女入墨ニ処ス

長崎ノ平蔵ヲ

小日向西丸門町
去年清兵衛八ヶ年毎
沈毒

松平和泉守藩領地元禄
寛政元酉年
十月廿日入墨
但陽屋ヲ表家業ニ盗ス科

設ケ仕置ニ処ス亦係文字年記ハ十二百廻山響敷
作渡山門安蔵ヲ名ヲ敷寄屋町平蔵屋敷ニ
中者三宝附設ケ之ヲ殖ル余多ニ依中依科
宰屋補於義門家第ヲ又拵設退敷中外
設ニ敷仕置ハ小合同外亦合ニ依延享二巳年八月廿
出止ハ旨月番為長門守中渡ニ設仕置延享元年
二月十百馬場潰屋ヲ有ヲ有ニ依出止
夫ヶ又寛延二巳年十月廿旨能勢肥後守家ニ通
設初リ山ヲ中渡同人ヲ同年十二月廿敷ニ者元人
有ニ依後出候也 但常屋ヲ表ニ有ハ敷用ニ書出中出
九月廿敷ヲ

京桜木町名前刷屋ヲ書写

京桜木町八丁ヲ仕置者仕役桜木町起動ヲ起立ニ依
差寄仕役仕役行是又数旦ニ依出尋ヲ右町内并
仕町ハ七中通ニ集ニ書留ヲ色ニ驚寄ニ仕ル
何ニ出代ヲ依ニ有ニ出ル右起立ニ依書留ヲ
ニ出ル和ヲ右有ハ一通リ
中上ル

一右仕役桜木ヲ勤ル和ヲ桜木町桜屋
ニ門ハ孫人ヲ出ル仕置ニ此の桜木個所無
右桜屋其後ニ無対ヲ逆ニ出ル何ル右
桜木ヲ町内ニ仕役ヲ勤ル中合ニ殿中上ニ殿
仕番所ヲ出ル町内ヲ行ニ出仕役桜木ヲ作
先ニ其ヲ紙ニ者中作ヲ
書留ヲ有ニ出ル殿ヲ是迄
ニ依出方ル

[illegible]

右長崎奉行[illegible]

[illegible]

但右[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

右[illegible]

仕候以上

寛政十年
十月

[illegible]

[illegible]

新助

御道具[illegible]

一銀拾貫匁　延[illegible]

一七拾貫匁　[illegible]

一拾貫匁　[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一銀百六拾九貫匁

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号　ろ二-27

本件ハ開港場ニ於テ外国人ニ対シ犯シタル重罪ニ関係ス

一　町人　長崎港ノ隣地ニ居住スル人民ニ対シ犯シタル軽罪

一　二兵人ロ　長崎ノ

但シ長崎ノ隣地ニ居住スル人民ニ対シ犯シタル重罪ハ本件ニ関係セサルモノトス

一　本国人　長崎ノ

但シ長崎ノ隣地ニ居住スル人民ニ対シ犯シタル重罪ハ本件ニ関係セサルモノトス

長崎港奉行

本国領事人ハ港内ニ於テ犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡スヘシ

但シ港内ニ於テ犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　軍艦ハ港ニ入ルトキハ港内ニ於テ犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

但シ上陸シテ他ヤ港内ニ於テ犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　港内ニ於テ犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

但シ港内ニ於テ犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

第四ノ条

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

第四ノ条

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一　犯罪人ヲ捕縛シ直チニ奉行ニ引渡サルモノトス

一斬罪ハ仕置ニ成ル者ハ評定所ニ而ハ
出上下ニ成ル駕籠ニ而ハ途中ハ人ニ出
逃ル者ハ仕置場ニ而ハ藁縄ニ成ル縛り
ニ成ル同心ニ首付ル
但捕使双方ニ而ハ徒目付ハ少人目付評定所ニ
出ル事ニ成ル

右斬罪ハ人足ハ縄掛ル者ハ是迄通ニ成ル
寅ノ年七月年月神谷年間ニ出ル如ク
ハ人目付ハ三年一ヶ月ニ成ル

遠島者ハ人用

一赤縄掛ル　壱人宿ル　壱人ニ付ル　壱人ニ付ル
是ハ遠島ニ成ル者ハ
但ハ世話ハ出ル不ル町年寄ハ中付ル出ル宅屋敷ハ家ハ
後ハ番ハ名ハ知ル

一二把入ル　壱ツニ付ル　壱ツニ付ル
是ハ遠島ニ成ル者ハ
但宅屋敷ハ家ハ中付ル

一町人ハ　壱人ニ付ル　壱人ニ付ル
是ハ遠島ニ成ル者ハ
出ル者ハ成ル如ク屋敷
出ル者ハ成ル如ク解ル者ハ
出ル者ハ成ル如ク

右ハ人用ハ残宅屋ハ用帳ニ書出ル

一遠島ニ成ル者ハ
海ニ成ル者ハ
但ハ日ハ宅屋敷ハ海ニ成ル

一死罪ハ仕置ニ成ル者ハ
但ハ日ハ宅屋敷ハ海ニ成ル

不埒ハ人用

一首桶　壱ツニ付ル　代銀七匁ツ
是ハ先年町年寄ハ中付ル出ル
出ル者ハ桶ハ出ル

死骸ハ張ハ用

一酒　壱樽ニ付ル　代銀八匁ツ
是ハ出ル者ハ町年寄ハ中付ル
出ル者ハ出ル宅屋敷ハ

是ハ遠藤忠蔵持運人足共揚屋接遣
出入ニ付ニ成ル雑費共報拘者ニ付
右ハ用ル残宰屋ハ用帳ニ書出ル

一遠藤忠蔵ニ成ル先出張人足ニ付役ニ
渡ス分先出ル

但新下目宰屋ニ成ル渡ス分ハ

一死罪ハ仕置ニ成ル分人足ハ役ニ渡ス分先出ル

但新下目宰屋ニ成ル分ハ

不機門ハ入用

一首桶　壱ツ　代銀七匁ツヽ

是ハ先年町奉行ニ中付ハ此之処当時之宰屋ニ成ル小使ニ町
壱ツ宛桶ニ成ル壱ツハ壱ツ中付ハ

死骸ハ張ハ入用

一ハ　壱張　代銀八匁壱ツヽ

是ハ此書ハ町年寄ニ中付家町ハ溜ル所ニ成ル
壱ツ宛宰屋ニ成ル桶ハ出宰屋ハ入用ニ書出ル

月

一大籠　壱ツ　代金壱分

但壱ツ

是ハ宰屋ハ入用ニ中途壱ツ宛ハ
流用仕ル

右ハ張ハ悪人共ハ役ニ成ル分先出ル

一捻札懸張ハ屋道具縄新苫ハ三ツ組ハ新年ハ
寄保ニ成ル年ハ近ル町方ハ懸ル如此張ハ壱ツ宛同年
六月半減ニ成ル張ハ渡ス分ハ
但市ハ屋敷新ハ所ニ渡ス分ハ

捻札ニ成ル
但右ハ新宰屋ハ入用ニ書出ル

一懸門ハ大鋸ニ成ル先年ハ此ハ役ニ神田張法町ハ
先出ル如ハ此ハ中ハ本町ハ二ツ目ハ渡張法業者ハ
出ル此宰屋ハ入用ニ中途壱ツ宛ハ

切張ハ取ル分今ハ通

一揚屋ハ二ツ之分ハ間ハ此書ハ掃除ハ段ハ取ル張ハ新ハ
ハ此ハ町ハ掃除ハ新ハ
ハ此ハ中ハ

切腹人取扱方之通

一 揚屋敷之内ニ設置之間番所帰隠居之段及表向新市ヶ
谷武町停止帰隠中付新敷屋敷之儀留主上ニ而獄家
敷造作自分ニ取仕候ハヽ迫而表向ニ通ル義ニ相成申ス
ニ付表向ニ当番表面長屋張廻一双金左衛門二枚屏
ニ枝屏縁前ノ建上ヶ方ニ開き申ス

一 切腹ヶ場所表番所向煉塀際ニ七ヶ所ノ竈ヲ設置
候ノ儀ニ上ニ縁無之或無之ヶ所ハ奇組ヶ繕当面通
但夜ニ入用之分ハ桶ニ而ノ水ハ水溜桶際ニ置申ス

一 夜ニ入ノ用意ニ長提灯拵置候ハヽ表場ニ而ハ長提灯
際ニ立張提灯二張番所ニ而庭柱ニ長提灯拵置ス
数人ヶ所ニ付ハ長提灯ハ自分ニ而ハ拵置不申候ハヽ
ハ竈ヲ設置ス外一二ヶ揚屋敷ニ自分ニ而ハ拵置不申候庭柱ニ長提灯
二張堀門内ニ壱張完業長屋ニ水溜桶際ニ壱張中門内
壱張番所ニ弐張表ニ六張外ニ高張提灯拵置
番所場ニ弐張表ニ弐張提灯拵置ス蝋燭燈

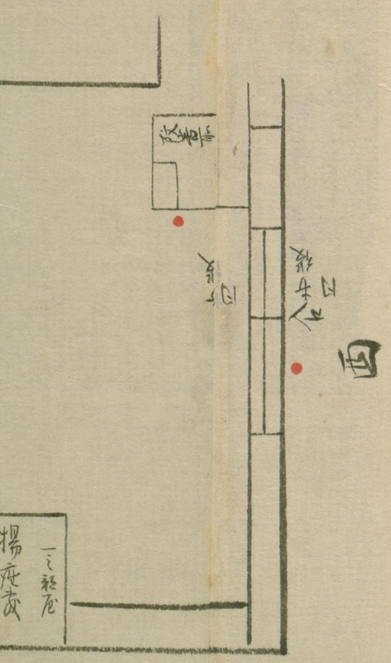
一 作事奉行評定所ニ而ハ役人ハ詰所ニ而ハ引渡
出役人同分ニ而ハ出役人同分ニ而ハ
駕籠ニ而ハ双方ニ役
同分ニ人ハ力組同分ニ人ハ駕籠ニ而ハ
作使同分ニ人作使ニ人ハ作使ニ人ハ出役与力
作使同分ニ人ハ出役人同分ニ人ハ作使ニ人ハ出役与力

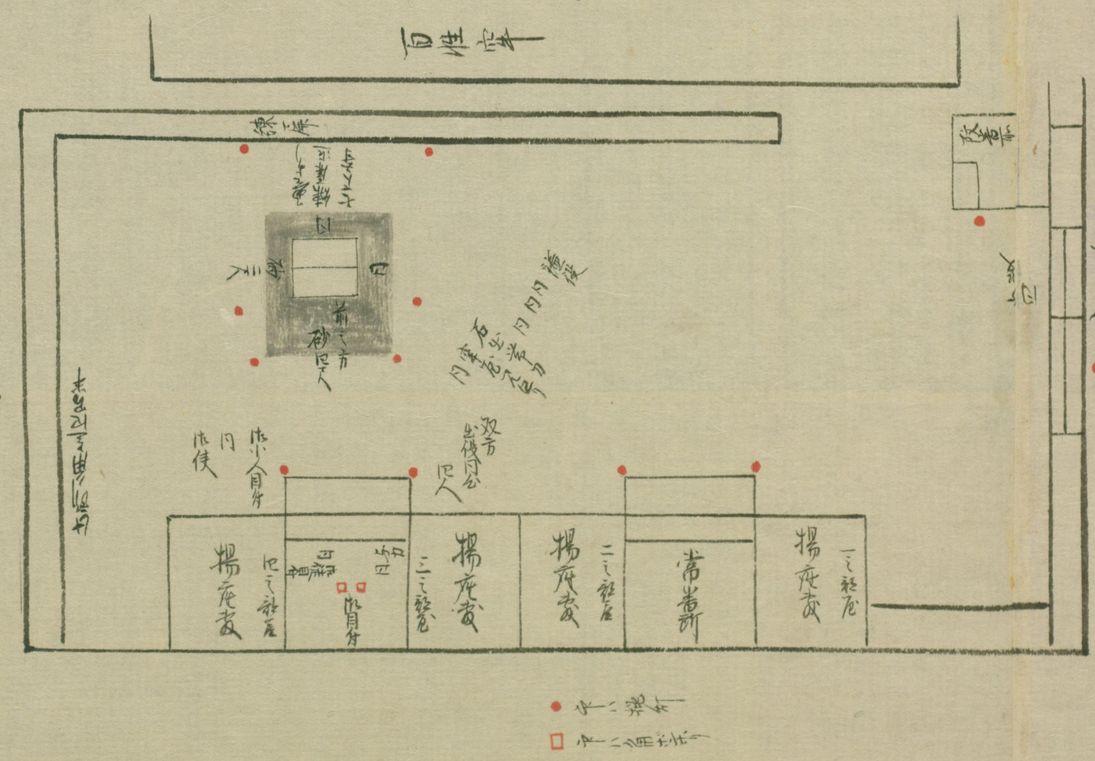
但ハ天九ノ儀ハ表ノ玄関ニ用ル
役ニ金ハ出用ニ与ハ出役ハ

一 皆間有之番所ハ内ノ分ハ山内ノ少ハ番所ハ内ノ分ハ
宰屋ハ内ノ分ハ
表番ハ作事門内ハ表ハ出役与力ハ
作使ハ表門ハ表ハ出役ハ
服装ハ作使ハ出役ハ
役番ハ表ハ出役ハ
改番ハ表ハ出役ハ
附添ハ表ハ出役ハ

一昨日有之暮時赤間関分山口藩屋敷ニ有
宰屋貞吉事右出常力藩内脇坂脇出向中ニ
右出兼ねて内密ニ役出役与力を揚屋警護門際ニ
出張相待居ル出貞吉元出番所ニ出張居候宰右人
服部仁兵衛切腹人数一手ニ出役如元出役
人数十前中ニ有之隠役出張警護ニ揚屋
改兼兼ねて出置ニ兼兼ねて不審ニ隠役出張ニ
賀屋吉郎ニ外ニ出し常ニ兼警役添外諸人共右
附添ニ番役ニ右ニ方相当番役ニ九ニ方被捕
役ニ出置ニ上ニ是ニ為ニ長ニ中外諸人
ニ東小ニ角ニ方ニ屋ニ相役ニ曲淵甲斐守組同心
高木伊助ニ中ニ出ニ外ニ兼相役外諸常力ニ心静ニ支度
義役ニ中ニ達ニ出役ニ役ニ相移ニ伊助役添
ニ方ニ九ニ方ニ出ニ後ニ向ニ屋ニ力ニ相出兼
毎人ニ添外諸人有之ニ外ニ九ニ為ニ脱ニ後ニ方ニ
相出ニ後ニ役ニ常力組同心相出常同ニ方ニ相兼
向ニ先ニ出ニ潮ニ延ニ相ニ先ニ退ニ兼役
二方ニ一ニ元ニ役兼ニ方ニ外諸役ニ首ニ役
ニ門ニ前ニ上ニ伏ニ当番役ニ帯ニ川ニ役
首兼ニ出ニ如ニ役ニ屋ニ伊助役相出ニ兼役
右ニ役ニ九ニ方ニ相ニ九ニ方ニ外ニ兼ニ藤ニ実
九ニ是ニ潮ニ出ニ首ニ横顔ニ向ニ当分ニ方ニ先ニ
外諸ニ中ニ徳ニ見ニ屋ニ役ニ当分ニ屋ニ兼ニ中ニ有
首ニ死骸ニ際ニ先ニ出ニ役ニ外ニ男ニ死骸ニ
上ニ前ニ像ニ中ニ出ニ出ニ当分ニ元ニ退役ニ有ニ出ニ
出ニ兼ニ宰屋貞吉ニ見回ニ常ニ屋出常力ニ遣ニ出ニ役同分

土外同断


場所絵図
揚屋
一ニ部屋
揚屋敷
内ノ長屋
内ノ長屋
内ノ長屋



仮籠文写

天明四年
辰二月廿七日入

一、依野宗寿儀、盛代人、異者剃髪、世話
蜷川出羽守組
普請組同浪山城守殿ニ為出預ケ有揚座敷ニ

右依野宗寿儀、盛代人ニ付、去月廿七日於
厳中同浪山城守屋敷ニ為預ケ置ル、山城守
右之儀ニ付、仮出屋敷ニ相預ル、依野
儀、於評定所大目付大屋遠江守町奉行曲淵甲斐守
皆分山川伯耆守立会、吟味ニ及ル者也

辰
二月
二日

右宗寿儀、死罪ニ通、出羽国秋田郡十市田比忠兵衛ニ
元禄中、公儀ニ為評定所、紙田村ニ
処ル者ニ通ル、紙田村ニ
服部仁左衛門殿
依野宗寿儀、
依野宗寿儀、死罪ニ通、出羽国秋田郡十市田比忠兵衛ニ
元禄中、公儀ニ為評定所、紙田村ニ
処ル者ニ通ル、紙田村ニ

国立国会図書館　タイトル『刑罪書』請求記号 ね二-27

一　本年二月中

一　第四大隊第一中隊第一小隊第一分隊
　　陸軍二等卒　山内清吉
　　陸軍同上　小林豊次郎
　　陸軍同上　長谷川清
　　陸軍同上　藤田惟孝

右三人

陸軍

一　明治十年二月中
　　陸軍二等卒　山内清吉
　　陸軍同上　小林豊次郎
　　陸軍同上　長谷川清
　　陸軍同上　藤田惟孝

右三人

陸軍

一　本年二月中

一　第四大隊第一中隊第一小隊第一分隊
　　陸軍二等卒　山内清吉
　　陸軍同上　小林豊次郎
　　陸軍同上　長谷川清
　　陸軍同上　藤田惟孝

右三人

陸軍

一　明治十年二月中
　　陸軍二等卒　山内清吉
　　陸軍同上　小林豊次郎
　　陸軍同上　長谷川清
　　陸軍同上　藤田惟孝

右三人

陸軍

一 [illegible]

一 右之通

検使 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

九寸六分

一 木刀　壹ツ
但張子多紙繕の巻紙繕を二不錯

一 屏風　壹双
但西面屋敷張類料

一 [illegible]　六畳
但文政之比言書訓義書

一 [illegible]燭　或ツ
但已角ボンボリ足方用き

一 挑灯立　四ツ

一 板戸　二枚
是西横窓に設置赤新格子打る事有り

一 窪庫傳馬会所傳言問上問通過問屋問[illegible]
[illegible]或ル 宮屋

一 所会所賃張　壹人分

一 場所[illegible]場所者　壹人宛
但横打或人数名称[illegible]七時の挑灯打或人書ス

一 平同人　壹人宛　二人
但打[illegible]或人数[illegible]　但縄ハ壹人横打或人挑灯打[illegible]

一 依列[illegible]同義　壹人宛　四人　横打四人

一 [illegible]会所賃　壹人分　百文

一 掃除会所　月　義八文

一 同会所　壹人宛　六人
但横打或人数名称[illegible]人横同壹人分[illegible]七時の挑灯打或人書ス

一 [illegible]代張　壹枝宛　横七寸

一 張　月　二枝或ハ分

一 [illegible]　月　二枝或ハ分

一 [illegible]　壹貫　[illegible]ハ或ル

一 [illegible]　壹枝　白木　三方　壹ツ

一 [illegible]張　横枝
内二枝ハ通[illegible]

一 同　壹貫
但[illegible]場所[illegible]

一 [illegible]　大荷

一 [illegible]桶　壹ツ
但柄杓添

一 銅張　[illegible]

敵仕置之事

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

敵仕置之事

[illegible]

検使
立合

敷取手役

溢役

表

一引廻之者縄掛之仕様

[illegible]

一馬に乗附仕様

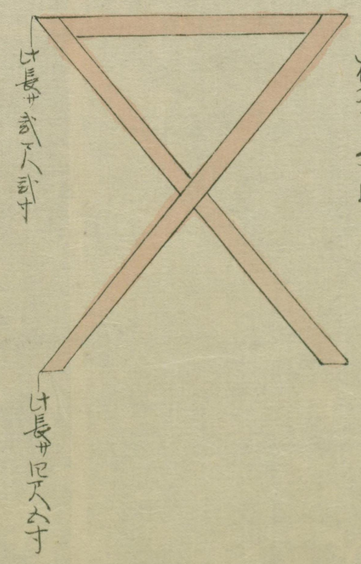
[illegible]

一引上者縄掛板

仕儀牢番門より長二寸巾二寸巾五寸程の荒縄を以て男女共
中縄に為縛改書記為
腰縄に仕縄又芋細引之縄を以て
後ろ手に海老之如く仕候事

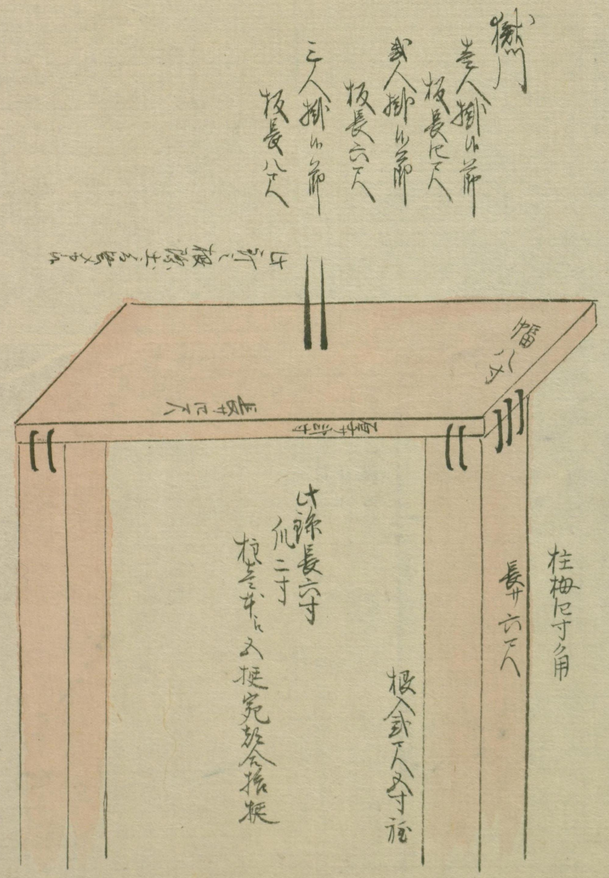
一馬に縛附板

仕儀縄を以上に流を数本掛け因人を
縄を因人の流に引通し左右へ
右縄を以て動板仕引寄り中に別に馬に縛り
右流を
背に乗せ七馬に縛り
背に乗せ柱に因人縛附中



一因人を立て背に馬を立て宛為引中

一獄柳板長二間巾弐尺



一獄門者晒日数

仕儀者日数三日二夜晒並三日目夕方に掛り
仕書記に様子次第
内ゟも通る
御成之節之取捨に

国立国会図書館　タイトル『刑罪書』　請求記号 る二-27

一獄門首晒日数

式儀者四日数二日二夜晒並二日夕方出獄ス
但番所ニ様多故御渡申ス時者上取扱申ス者日数
内ニ通ス

御成ニ節ニ取除申ス

一捨札日数式日建並取扱申ス

式儀日数三日建ニ取扱申ス出通ス

御成ニ節者日ニ取除並後日数ニ建ニ申ス

海老責者ニ通縛り取並

縄ニ為ス者細ニ

梁
横ニの

向柱

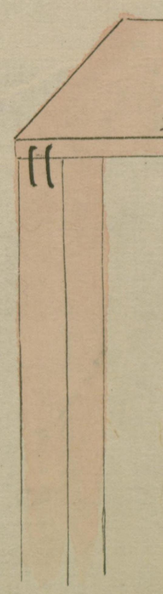
搦問ニ者

足指ハ曲リ三寸六分程上ル

ぬき者細ニ成る時縄ニ成る

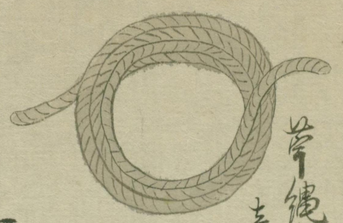
ぬき布ニ成る巻

牢問石ニ足ヲ付ル者



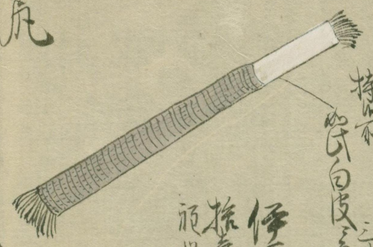
国立国会図書館　タイトル『刑罪書』 請求記号 る二-27

牢問石之図

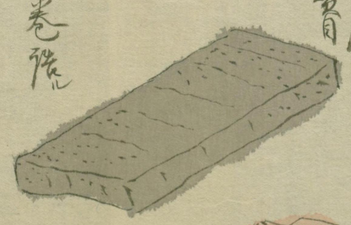


苧縄七寸
長サ五尋半
但尋実六尺

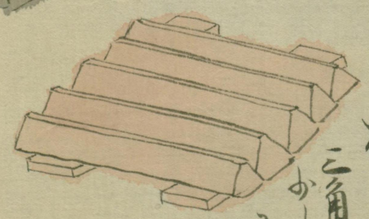
石道具



持ち柄
竹白皮ニ寸余巻

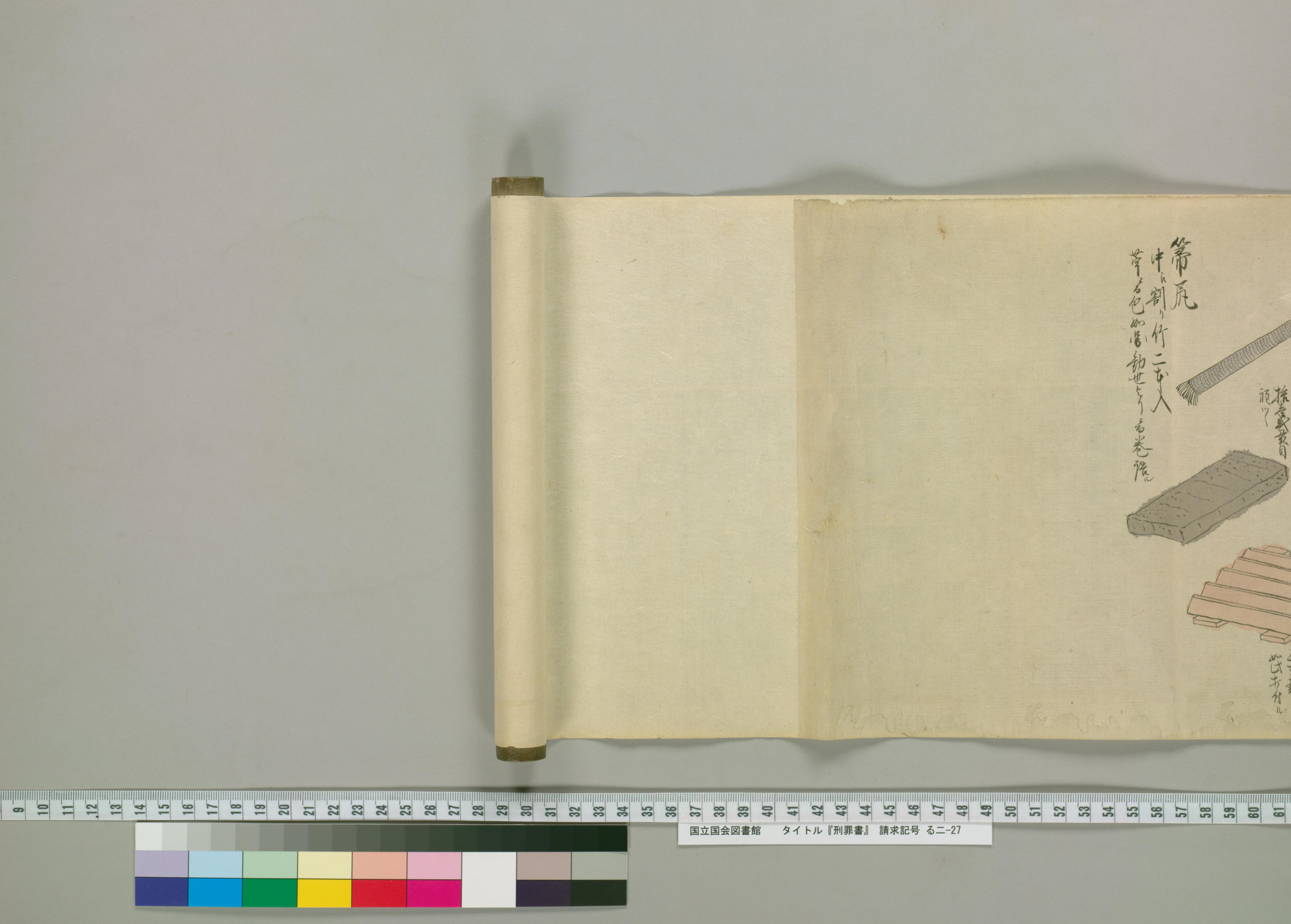


竹箒
中ハ割り竹二本入
苧ニて包如此動世ニて巻張ル



松丸木
三角ニ角ヲ
おし切り
丸木並へ
三寸貫へ
竹ニて付ル

梁
鉄ニの
足指ト焼リ二寸六分程ニ



国立国会図書館　タイトル『刑罪書』 請求記号 る二-27